

# 「沖縄地域知的財産推進計画(平成24年3月)」の概要

## 背景

- ①「新成長戦略(平成22年6月閣議決定)」  
コンテンツ、デザイン、ファッション、料理、伝統文化、メディア芸術等の“クールジャパン”の対外発信による日本のブランド力向上が重要である。
- ②「知的財産推進計画2011(平成23年6月)」  
地域にある知的資産を発掘・創造し、グローバルに発信していくことを目的とする“クールジャパン戦略”を4つの知的財産戦略の1つとする。
- ③「沖縄地域経済産業ビジョン・中間報告(平成22年3月)」  
沖縄の優位性を徹底的に活かしていくというアプローチの重要性
- ④「沖縄感性・文化産業研究会報告書(平成23年2月)」  
沖縄感性・文化産業の振興においては、知的財産戦略の構築が不可欠
- ⑤「沖縄中小企業海外展開支援行動計画(平成23年5月)」  
中小企業への知的財産に関する普及啓発に取り組みとともに、海外展開に向けた知財経営の取り組みを支援する。

## 沖縄地域の優位性



知的財産戦略  
の活用

- ①独特の文化や伝統芸能等の豊富な地域資源
- ②衣食住に関する地域資源

## 知的財産を取り巻く現状と課題

- ①統計に見る現状
  - ・出願件数は特許・実用新案全国下位(特許45位、実用42位、平成22年)また、平成18年～22年の累計では、特許出願の55%は個人による出願である。
  - ・意匠・商標は全国中位(意匠32位、商標26位、平成22年)と比較的関心が高い。
  - ・その位置は平成16年(特許45位、実用40位、意匠31位、商標17位)とほとんど変わっていない。
- ②企業アンケートに見る現状
  - ◎知的財産の“創造”における課題
    - ・知的財産の重要性を理解した開発人材の不足
    - ・知的財産創造のための資金不足
  - ◎知的財産の“保護”に関する課題
    - ・権利化の意義に関する知識の不足
    - ・出願や権利維持のための費用の負担
    - ・企業経営における知的財産活動の位置付けが不明確
  - ◎知的財産の“活用”に関する課題
    - ・経営の中で知的財産を活用する意識の不足
    - ・知的財産支援サービスに関する情報不足
  - ◎知財総合支援窓口の認知度及びサービスレベルの向上
- ③行政機関・支援機関アンケートに見る現状
  - ・市町村単位の知的財産活動の支援体制が脆弱
  - ・ブランド力向上支援の取組の認知度が低い

## 沖縄地域の優位性を活かした知的財産戦略

### 戦略1 沖縄感性・文化産業振興への支援

沖縄独特の文化や芸能の産業化を知的財産の戦略をもって支援することにより、沖縄感性・文化産業の振興を図る。

### 戦略2 地域資源のブランド化への支援

ブランド自体の魅力向上、流通やプロモーション等によるブランド発信の仕組み、地域の関係者を巻き込んだ持続可能な仕組み作り等の取組に対して、知的財産の戦略をもって、支援を実施することにより、地域資源を活かしたブランドの創出を図る。

### 戦略3 中小企業の海外展開への支援

海外展開時に企業が抱えることにより知的財産に関する課題を抽出し解決につながる支援を、中小企業の海外展開を図る。

## 知的財産の活用推進に向けた支援環境整備

### (1) 企業の知的財産への意識啓発の強化

企業経営に知的財産戦略の価値や重要性を認識させ、知的財産戦略を軸とした経営戦略の構築を支援

### (2) 知的財産に関する人材育成の推進

商品開発やビジネスモデルの構築を実施できる人材を育成。経営全体の中で知的財産活動のあり方について相談できる知的財産コンサルとしての弁理士の育成

### (3) 「知財総合支援窓口」の効果的な活用

各支援機関との連携を密にし、知的創造サイクルを支援する。

## 具体的な取組の方向性

### ① 知的財産戦略の策定支援

産業の振興、ブランド発信、海外事業展開における知的財産に関する課題を明確にし、その知的財産課題への対応策を整理した知的財産戦略の策定を支援する。

### ② 支援策、成功・失敗事例、各国知財制度等、有用な情報の発信

行政機関、支援機関は、支援策、各戦略に関連する県内外の取組事例や海外の知財制度・商慣行等の戦略推進のために有用な情報の発信に努める。

### ③ 知的財産に関する専門家の積極的導入

戦略推進にとって不可欠な知的財産活動を迅速かつ効果的に実施するために、取組の初期段階から積極的に知的財産に関する専門家を導入する。

### ④ “おきなわブランド”の実現性に関する検討

国内外に対する訴求力が高い“おきなわブランド”の実現性の検討を行う。

### ⑤ 知的財産の重要性に対する意識の醸成

経営やビジネスモデル全体における知的財産に関連した取組の重要性を伝えるために、セミナー・シンポジウム、企業訪問等を通じて、知的財産の重要性に対する意識を醸成する。

### ⑥ 知的財産に精通した人材の育成

感性・文化産業のビジネスモデルを推進するプロデューサー、地域資源を活用したブランド創出のキーパーソン、海外展開を企図する企業の経営者等、戦略推進のために不可欠な人材を対象とした知的財産関連のセミナー等を実施する。

### ⑦ 学生等の次世代に対する知的財産教育の推進

学生等に対する知的財産教育の推進に向けた支援を行う。

### ⑧ 知的財産信託や知的財産ファンドの創設に向けた検討

県内金融機関による知的財産信託の創設や知的財産保有企業への出資枠拡大及び多様な主体の出資による知的財産ファンドの創設の検討を行い、企業の知的財産活動に必要な資金調達手段の充実を図る。

### ⑨ 「知財総合支援窓口」の効果的な活用

行政等の支援、各商工会議所、商工会等の相談窓口と連携を設置し、県内の知財総合支援窓口に集約し、情報発信することで認知度向上及び周知徹底を図る。(知財総合支援窓口)

# 沖縄の優位性を活かした知的財産戦略と支援環境の整備

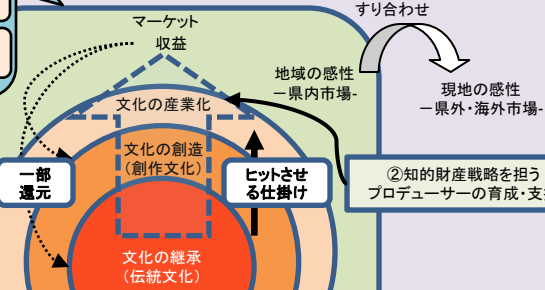
## 戦略1 沖縄感性・文化産業振興への支援

○沖縄独特の文化や芸能の産業化を知的財産の戦略をもって支援することが重要

### ①知的財産戦略の策定支援

知的財産による収益を文化の継承・創造に還元する仕組みの実現性検討

海外展開における知的財産戦略策定の支援



②知的財産戦略を担うプロデューサーの育成・支援

セミナー・シンポジウム等による意識醸成

◆沖縄感性・文化の産業化を考える基本図式

## 戦略2 地域資源のブランド化への支援

○知的財産戦略によるブランド化の取組への支援を行い、地域資源を活かしたブランド創出を推進

②全国における成功・失敗事例の情報提供

取組への参考

①ブランドにおける知的財産戦略の策定支援

③地域資源のブランド化に係る意識醸成

④知的財産に関する専門家の積極的導入

⑥国内外に向けたプロモーション支援

○知的財産に対する意識醸成  
○ブランド創出に向けた体制の強化

⑤おきなわブランドの実現性に関する検討

国内外に対する訴求力向上

地域経済の活性化

効果的なブランドの発信

地域を巻き込んだ商品開発・産業化

ブランド自体の魅力向上

地域資源の活用



キーパーソンや周辺関係者

地域資源を活用したブランド商品の開発

## 戦略3 中小企業の海外展開への支援

○企業が直面する知的財産課題の抽出と解決につながる支援を実施し、海外展開を推進

⑦弁護士・弁理士等の専門家のネットワーク化とその有効活用

専門家のネットワーク化と有効活用

知財課題の気づき

進出先ごとの知的財産戦略

企業への普及啓発

取組の方向性

①知的財産戦略策定の支援

④外国の知的財産を巡る事情・文化・制度に関する迅速かつ正確な情報提供

⑤知的財産に関するセミナー等の実施

中小企業の商品のブランド化への支援

中小企業の海外展開推進

沖縄感性・文化産業

地域資源を活かしたブランド

## 知財総合支援窓口の効果的な活用等

○知財総合支援窓口のサービスの質と認知度の向上を通じ、企業等の知的財産の活用を推進

知財総合支援窓口の効果的活用

重点的に支援する企業カテゴリーの設置と支援内容の発掘

知的財産の実用化の可能性の高い企業を重点的に支援

十分な周知、企業訪問等を通じた窓口の利用促進

知財総合支援窓口の認知度向上

サービスの質向上

知財総合支援窓口

各支援機関との十分な連携

中小企業への知的財産への意識啓発の強化

知的財産の重要性を伝えるセミナー等の実施

知的財産に関する支援策の情報にアクセスしやすい環境の構築

知的財産に関する人材育成の推進

企業経営の中で、知的財産の重要性を認識し、活用できる人材の育成

学生等の次世代に対する知的財産教育の推進